

## 医療福祉 BCP コンサルティングで培ったノウハウを安否確認システムに活用

2022年3月18日(金)

当社の主力事業である臨床経験者による医療福祉 BCP コンサルティング事業で培ったノウハウを活かした、多用途な安否確認システムが開発されました。

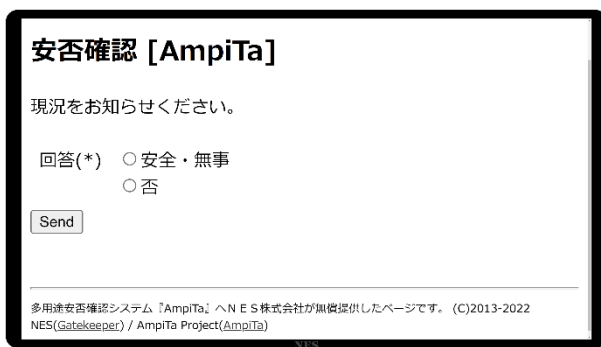
開発した多用途安否確認システム『AmpiTa』(アンピタ)の初版は2013年に開発されています。当時は透析患者の安否確認用に自院で用いるためのシステムとして開発され、その後公開に至っています。その開発者(AmpiTa Project)と協働し、弊社が現場で直面した課題の解決策となる機能を搭載した新版のAmpiTaを開発し、本日より弊社からの提供を開始しました。

医療福祉の現場では大災害が発生しても止められない業務があります。入院や入所している健康弱者や生活弱者をケアするためには少なからず人の手が必要になります。発災時に居合わせた従業員が不眠不休で何十時間も働ける訳ではないため発災後に参集できる従業員数が戦略を大きく左右します。

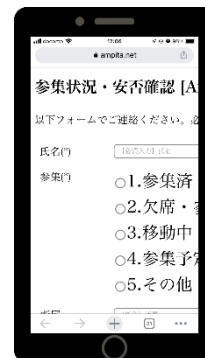
従来からある安否確認システムは安否に主眼が置かれていますが、AmpiTaは参集を重視して改編を重ねました。院外に居る従業員の安否は心配されますが、BCP策定段階でも参集に重きを置く事が多いため、その参集人数把握の確実性、精緻性の向上に寄与するシステムの開発に取り組みました。

BCPは計画するだけでは機能しづらいため、マネジメント(BCM)が重要となります。BCMの1つに訓練がありますが安否や参集の確認に時間を割けない医療機関等も多いと考え、身構えずに訓練できる仕組みを考案しました。例えば、平時に行われる院内研修のアンケートにAmpiTaが利用されるよう工夫を加えました。

私たち開発チームが目指したのは、医療機関や福祉施設が非常事態に直面しても精度の高い戦略を立案できるためのできることを支援するツールの開発です。これからも現場志向で開発を続けて参ります。



パソコン画面で見た安否確認(安否の2択)



スマートフォン画面で見た参集確認

### 記

**概要** : NES 株式会社の主力事業である臨床経験者による医療福祉 BCP コンサルティングで培ったノウハウを多用途安否確認システム(AmpiTa)の開発に活用し、成果物を本日より提供開始。

**用語** : BCPとは、business continuity planの略語で、事業継続計画や業務継続計画とも呼ばれます。BCMとは、business continuity managementの略語でBCPを実践するためのマネジメントです。安否確認システムとは関係者の安全を確認するためのツールで、多くの場合ITシステムです。

**問合先** : NES株式会社 お客様係 info@24med365.net

以上